



三春中学校だより

第 61 号

発行日 令和 2 年 3 月 2 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【一人ひとりが心を込めて！ ～卒業式の予行を行いました。～】

2月27日(木)には、3月13日(金)に迫った卒業証書授与式にむけ、その予行を行いました。防寒対策とマスク着用の下、全校生が体育館に集合し、卒業式当日の動きの確認を行いました。本校の全体での卒業式練習はこれ1回きりです。それぞれの学年でしっかりした指導を行い、式の流れをしっかりと頭に入れた中での予行なので、スムーズに卒業式の全体練習が進みます。今回の卒業式予行は、新型コロナウイルスをはじめとした感染症等への対応もあり、2時間の計画を1時間に縮小しましたが、再確認の時間をとることなくスムーズに終了しました。教務主任の先生のリーダーシップと、先生方の素晴らしい事前指導と子どもたちの理解力のなせる業だと感心しました。

本番の卒業証書授与式は縮小の方向で行うことにはなりますが、後輩が伝えたい“お世話になりました”、“輝かしい未来を祈ります”という気持ち、卒業生が伝えたい“お前たちもがんばってついてきてくれたな”、“あとは頼んだぞ”という気持ちはこれまでの6回の三春中学校卒業式と全く変わらないものと確信いたします。たっぷりの“心のこもった”卒業式にしたいと思います。

心がこもったといえば、予行の日の早朝、出勤して校内への出入扉を開けると、流れるようなピアノのメロディーが聞こえてきました。素晴らしい演奏はどこから聞こえてくるのだろうとCGに出てみると、3階の家庭科室前のピアノらしく、階段をのぼってそこまで行ってみると、女子生徒がピアノの前に座って一生懸命演奏に取り組んでいました。「練習？」と聞くと、「はい。」という返事。卒業式の式歌伴奏者の女の子の一人でした。「ありがたいなあ。」と感心しつつ邪魔しないようにその場を離れました。ひっそりとはありますが、心を込めて、ひたむきに、練習に努める女子生徒の姿に、三春中学校の『忠恕』『探究』『必達』のめざす生徒像を実際に見た思いがしました。

卒業式にむけ、心がこもったといえば、もう一つ素敵なお話があります。三春中学校の卒業式をはじめとしたさまざまな式の際には、いつも吹奏楽部が大活躍してくれていました。しかし、今年度は3年生の部員が抜けると、残るは10人ほどの部員となってしまいました。卒業式の演奏をどうするか部員のみなさんに話し合っていたところ、「ぜひできるところまでがんばりたい。」と心強い返答が返ってきました。部員さんによっては、専門外の楽器を練習してがんばってくれる生徒さんもいました。さらには、その少ない吹奏楽部の演奏を応援しようと、音楽の先生がピアノ演奏に優れた生徒さんに働きかけたところ“快諾”。今年度は吹奏楽部+ピアノのスペシャリストの生徒さんによるキーボード演奏が加わり、入場等の演奏に心を込めて取り組むこととなりました。

みなさんありがとう！心のこもった素晴らしい卒業式にしていきたいでしょう。



【臨時休校にご理解・ご協力を！ ～ご家庭での感染症予防をお願いします。～】

『新型コロナウイルスによる臨時休業期間中の生徒の健康管理について』

保護者のみなさまには、日頃より生徒の健康指導、健康管理につきましてご理解・ご協力をたまわり感謝申し上げます。

さて、このところ、報道等において、新型コロナウイルスに関する深刻な記事・報道が続いております。2月27日に日本政府よりの要請をうけ、三春町では、3月4日(水)より春休みまでの期間が臨時休業となりました。

本校におきましては、今のところ該当生徒はおりませんが、不測の事態等に備え、臨時休業中の健康管理についてご家庭と連携しながら、万全を期してまいりたいと存じます。

臨時休業期間中、3年生は進路・受験期を健康で乗り切り、また、1・2年生は進級にむけた諸活動がさらに充実するよう、学校・家庭において、感染予防や感染拡大防止等にきめ細かく取り組んでまいりたいと存じます。

つきましては、下記のように、学校とご家庭が連携し、感染症等に対応してまいりたいと存じますので、ご理解・ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

記

1 これまでの感染性疾病等への学校の対応について

- (1) うがい・手洗いにしっかり取り組む。(アルコール溶剤、塩素系消毒液、泡ハンドソープ)
- (2) 咳エチケットを指導する。
- (3) 学校生活や各種大会等への参加自粛、参加時のマスク着用に努める。
- (4) 教室等の定期的な換気、空気の入替え、湿度の保持に努める。

2 ご家庭へのお願い

- (1) うがい・手洗い、外出時のマスク着用、換気等に努める。
- (2) 心配な症状がみられたら、医療機関と連絡をとり、受診方法を確認した後、速やかに受診する。結果等についてはご面倒でも学校までお知らせください。
- (3) バランスのよい食事と十分な休養を心がける。(早寝、早起き、朝ごはん)
※ 学習課題を準備します。体調面を考慮しつつ、学校での生活時間を目安に計画的に取り組ませてください。
- (4) 極力、人混みへの外出を避ける。

3 咳や発熱等が続く場合の注意ポイント

- (1) コロナウイルスについて
発熱・咳・筋肉痛・倦怠感・呼吸困難などの症状があるウイルスで人へ感染するものは6種類と言われています。ヒトからヒトへの感染は飛沫感染と接触感染が考えられています。
感染予防には石けんやアルコール消毒液などによる手洗いを励行します。《咳エチケット》も有効な手段です。咳やくしゃみを手で押さえ、その手でものに触れば手についたものが付着します。人混みの多い場所を避けるのはこのためでもあります。
- (2) 咳が続く、感染症が疑われたら(風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く場合)
早めに医療機関を受診し治療を受けてください。受診する場合、かかりつけの医療機関にまずは連絡してから受診するようにしましょう。
感染症は出席停止になる場合があります。WHOによると新型コロナウイルスの潜伏期間は現在1～12.5日と言われています。
学校保健安全法では第1種感染症と見なされ、罹患した場合、治癒するまでが出席停止となっています。14日間が状態観察期間の目安です。無理をせず休養と睡眠を十分にとり免疫力を高め、周囲への感染拡大予防のマスクを着用しましょう。
なお、詳細については厚生労働省のホームページをご覧ください。

《咳エチケット3か条》

- ① 咳・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を押さえまわりの人から顔をそむける。
- ② 使用後のティッシュはすぐに蓋つきのゴミ箱に捨てる。
- ③ 症状のある人はマスクを正しく着用し、感染防止に努める。

(3) 感染性疾病等の予防について

- ① 人混みを避け、外から帰ったら手洗い・うがいを行う。
- ② 夜更かしせず、休養をとり、バランスのよい食事をとる。
- ③ 外出時・人混みでは、マスク着用が有効です。

【いつもの場所はいつも通り。他の場所も整っています！ ～整った学びの環境です。～】

この学校だよりで幾度となく取り上げてきた校内の雑巾がけの様子。年度末の何かとあわただしい中、ましてこのごろは新型コロナウイルスへの対応等でなおさら落ち着かない中、下の写真の通り、校内における子どもたちや先生方の心にはいつも通りの落ち着きが感じられます。特別支援学級の前の雑巾がけもきちんと整えられ、校務センター前の雑巾がけも同様でした。

“生命最優先”を第一義に、今為すべきことをしっかり考え、その考えに基づき行動するという、まさに、『忠恕』『探究』『必達』の精神そのものです。メリハリとけじめのある学校生活です。

